

米国金利上昇、貿易摩擦懸念などの環境下、 世界の経済成長は継続



米国 インフレ率

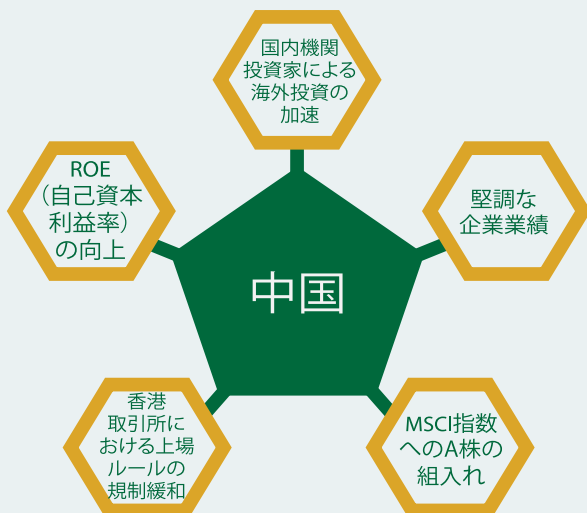
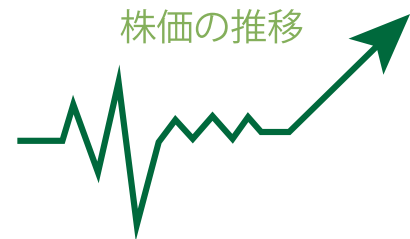


高まる物価上昇圧力

米国の利上げは、6月と今年後半に1~2回実施されると予想されます。しかし、PCEコアデフレーターが一時的に2%を超えたとしても、利上げのペースが加速することはないと予想されます。

株式をやや選好

足元では、株価は横ばいの推移が続いていますが、きっかけがあれば、株式市場は力強さを回復するでしょう。



好材料が中国株式市場を後押し

米国と中国の貿易交渉は長期化が予想されますが、中国経済減速に対する懸念は今のところ見当たりません。

“世界的な貿易摩擦や地政学リスクの高まりなどが懸念されるものの、引き続き世界の経済成長は堅調であり、2018年の企業業績も伸びが期待されることから、世界株式をやや選好しています。とりわけ、中国株式については、いくつもの好材料を背景に魅力的な投資機会があると見ています。”

ジェフ・ルイス、シニア・ストラテジスト、マニユライフ・アセット・マネジメント

[当資料に関する留意事項]

- 当資料は、マニライフ・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます)が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、特定の投資商品の推奨を目的としたものではありません。
- 当資料記載のデータや見通し等は、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、正確性、適時性を保証するものではありません。
- 当資料の内容およびコメントは資料作成時点における経済・市場環境等について当社の見解を記載したもので当該見解は予告なく変更される場合があります、将来の経済・市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 各指数に関する著作権等の知的財産、その他一切の権利は、各々の開発元または公表元に帰属します。
- 投資信託のお申込みの際は、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)で商品内容をご確認の上、ご自身で投資のご判断をお願いいたします。
- 当資料に関する一切の権利は、引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製はできません。

マニライフ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第433号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会